

イワキキャストブルの施工方法

□ 混 練

使用する水は泥や塩分を含まない清水を使用し、標準水量にしたがって混練します。水量が多すぎると強度低下のおそれがありますので、必要最小限にとどめます。

また、施工は混練後30分以内におこなってください。

□ 流しこみ

混合物を型枠のすみずみまで充てんし、気泡をなくすために棒でよくつつくことが必要であり、バイブレーターも適度に使用することにより効果をあげることができます。

□ こてぬり

適当な支持材（メタルラス）など仕上げ厚の2/3ほどの厚さにはり、やや硬目の混合物をおさえこみ、所定の厚さに仕上げます。

□ 養 生

施工後24時間は表面を湿った状態にしておくことが必要です。また、凍結のおそれのある場合は保温が必要になります。型枠は施工後、約8時間で取り外しできます。

□ 加熱乾燥

施工後24時間後には加熱乾燥可能ですが、加熱速度はできるだけ徐々に（20～50°/hr）おこないます。

特に、大型構造物の場合には注意が必要です。

□ 貯 蔵

イワキキャストブルは不還弁式防湿袋を使用しておりますが、湿気を吸いやすいので湿気・高温を避けた場所に貯蔵して下さい。